

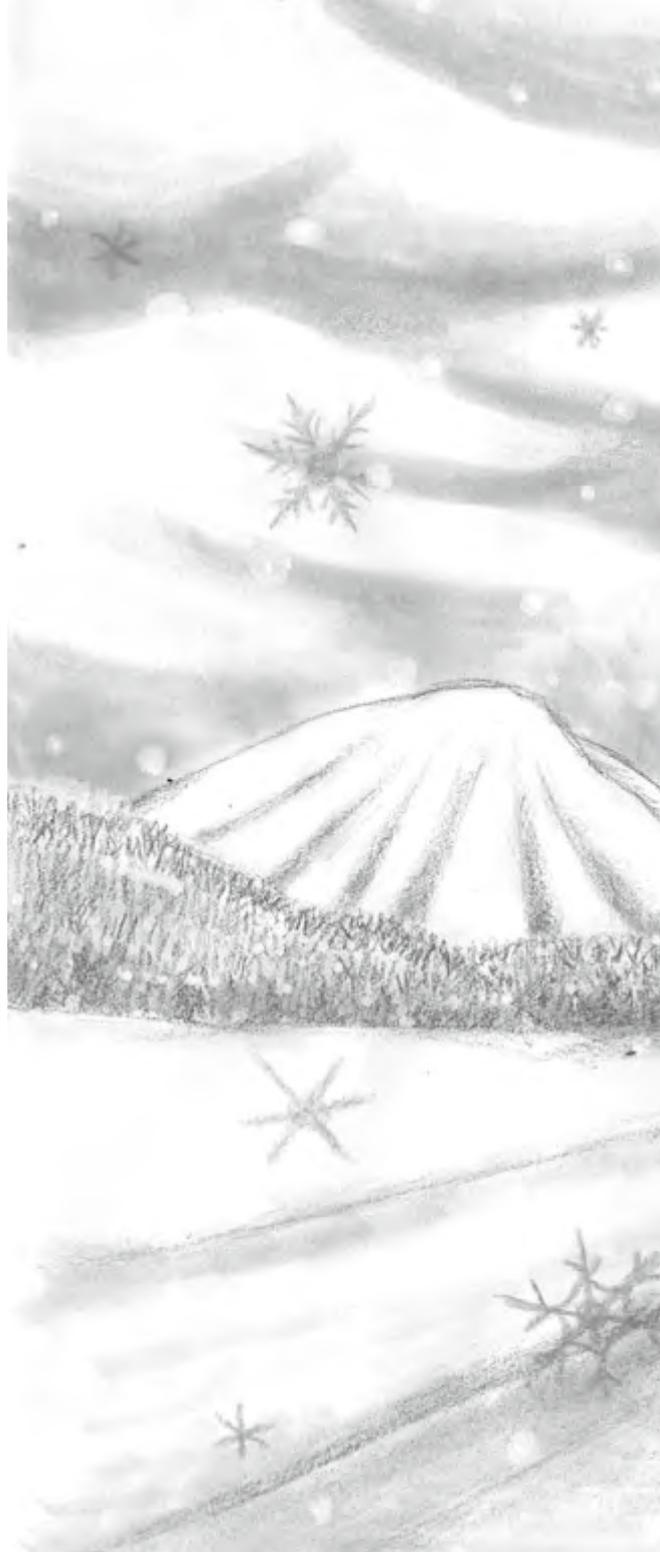
ピンネシリとマチネシリ 2つの山の安定感と 雄大な眺め

霜が降りる頃、洞爺方面への取材があった。天気が良かったので中山峠から向かう。途中、峠のてっぺんの茶屋「望洋中山」で一休み。お茶を飲みながら、景色を堪能する。まっすぐに見えるのは羊蹄山。この日は薄い雲がかかって少し霞んでいた。そして少し左側を向くと同じく少し霞んだ尻別岳が。この2つの山は中山峠からは離れて見える。いや実際離れているのだけど、場所によって違う見え方をする。

峠を降りて喜茂別町に入ってくると、右と左にくっきりと羊蹄山と尻別岳が見えて、山と山の間にいるようでなぜかワクワクしてしまう。この2つの山がこのように見えると知ったのは、14、5年ほど前だっただろうか。京極町の農家を訪れた時、二つの山が農家の納屋や家の立つ場所から前方の左右に見渡せるのだ。その風景は今も脳裏に印象深く残っていた。またその後訪ねた喜茂別の牧場からの眺めは、同じ大きさで隣り合って並んでいる風景になった。それ以来、中山峠から洞爺湖やニセコにむかう途中に、いろいろな見え方をするその2つの山の風景が大好きになった。

アイヌの方々には尻別岳をピンネシリ（雄山）、羊蹄山はマチネシリ（雌山）と呼んでいた。2つの山の安定感はこの周辺が肥沃な畑作地帯であることときっと無縁ではないのかもしれない。お父さんとお母さんが見守るような地域なのだなあと、改めて京極の農家の方が「この2つの山に見えるこの土地が大好きなんです」というこの言葉をしみじみ思い出す。

この号が出るのは2月で2023年もスタートしている。できれば、世界中が平和で安定して暮らせる2023年になることを心から願うばかりである。



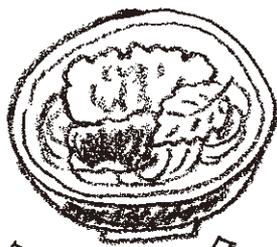
すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつはたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにここと」。

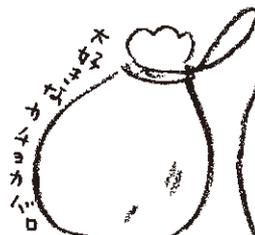
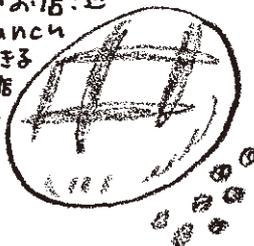


momo*



名水うどん野々傘
つるつるの傘打ちうどん
湯かいうどんはもちろ
この季節のうどんおき鍋も!

ノンケツシユ製パン+
トモエコーヒー
しっかり焼き上げた
パンと香りのよいコーゼ
のお店!近くには
Lunch
で子
ぶ店
も!



牧場タカラ
4-ズ工房タカラ
しあわせな牛のミルク
の4-ズはどつても
しあわせなおいしいさ♡

山のまゆりには
おいしいもそも
こつぱい...



雪国の風景は格別!!